

安井曾太郎 洋画家。明治 14 年五月一日京都生れ、昭和 10 年十一月十日（1935）（1886-1935）。明治 14-17 年蔵院洋画研究所入學、四十年アーティスト（遊學、大正 11 年歸國）～昭和 10 年「科會會員」、昭和 10 年帝國美術院會員、昭年在井細野彌二一水會會員、十九年東京美術學校教授、帝國美術院會員、1914 年在東京美術院藝術研究科大會圖、1917 年文化勳章受章。

著書『安井曾太郎畫集』（昭和 15 年）14 口タトツ社）、『安井曾太郎畫集』（通皮版、昭和 7 年七月、ナカトトショウ社）、『安井曾太郎の隨筆集』（文庫・大英圖編、昭和 11 年四月）14 口田大倉書店）、『大英圖寫真・畫之文』（文庫・陸軍省教道部編、昭和 16 年二月）（江戸川圖書出版社）、『少年美術館』全 6 卷（矢島喜久雄、美濃井編、昭和 17 年五月）14 口（岩波書店）、『花の通船』（今井著・新潮社出版部編、昭和 14-15 年六月）14 口（岩波書店）、『花の通船』（今井著・新潮社出版部編、昭和 14-15 年十月）14 口（岩波書店）、『世界の藝術・大英版』）、『少年美術館・續篇』全 8 卷（矢崎大五郎共編、昭和 17 年八月）14 口（1-15 年七月八月）（岩波書店）、『安井曾太郎表紙畫集』（昭和 19 年一月）14 口（岩波書店新社）、『少年美術館一油彩美術のばなし』（伊藤喜久雄、美濃井編、昭和 14 年十一月）14 口（岩波書店）等。

文獻、水原秋櫻子著『安井曾太郎』（昭和十九年一月）14 口（岩波書店）、矢代幸庭著『安井・梅原』、ルノワール・バシカ・近代畫家譜』（昭和 18 年五月）14 口（新潮社）、伊藤喜久雄著『安井曾太郎論集』（昭和 19 年一月）14 口（岩波書店）等。